

(2026.4～)

2026 年度 早稲田大学学術研究書出版制度

募 集 要 項

目 次

1. 学術研究書出版制度の目的	1
2. 叢書の種類	1
3. 編集・刊行・販売	1
4. 表彰	1
5. 応募から刊行までの手順（概要）	2
6. 募集の詳細	2
7. 応募・出版時の留意事項	4
8. 審査のプロセス	5
9. 採択・不採択の通知	6
10. 個人情報の保護	6

早稲田大学文化推進部文化企画課

1. 学術研究書出版制度の目的

本学のアカデミック・ステイタスの維持・向上と本学に関係する研究者の出版機会拡大を図るため、出版機能と情報発信強化の一環として、良質の学術研究書を株式会社早稲田大学出版部（以下、「出版部」という。）より出版していくことを目指しています。

2. 叢書の種類

上記の目的を効果的に達成するため、本制度では以下の2種類の叢書により書籍を出版します。

(1) 早稲田大学学術叢書

本学のアカデミック・ステイタスの維持・向上が第一の目的で、良質な学術研究書の出版機会を提供します。

刊行時の仕上がりの体裁は、A5判、上製、カバー装、400頁程度となります。

(2) 早稲田大学エウプラクシス叢書

博士学位取得後5年以内の研究者が単著として出版する機会を提供することが目的です。内容については、博士学位論文をもとにその後の研究成果を加え、社会的な関心に応えるものとなるよう加筆し、市販の書籍として必要とされる完成度が求められます。

刊行時の仕上がりの体裁は、A5判、上製、カバー装、300頁程度となります。

3. 編集・刊行・販売

出版に関わる経費は大学が負担し、原稿の編集（校正）・刊行・販売に至る一切の出版作業は、出版部が行います。

両叢書ともに、刊行された書籍には国際標準図書番号（ISBN）と定価が付されます。

発行部数は、専門分野やテーマ等によって異なりますが、出版段階で大学と出版部が協議して確定します。

書店での流通を前提に、研究者、大学図書館、公共図書館等への普及を行います。

4. 表彰

2020年度から、本制度に応募・採択の上、出版に至った図書に対して、当該研究者を顕彰し、その業績を広く周知するため、早稲田大学学術研究書出版賞が授与されます。

(1) 早稲田大学学術研究書出版賞

学術研究書出版制度により刊行されたすべての学術叢書が対象

(2) 早稲田大学学術研究書出版奨励賞

学術研究書出版制度により刊行されたすべてのエウプラクシス叢書が対象

※なお、本賞の対象は、2020年4月1日以降に採択されたものとし、それ以前に採択されたものについては、刊行時期が同日以降であっても対象としません。

5. 応募から刊行までの手順（概要）

必要書類を整え応募

- 書面審査（複数の専門審査員）
- 出版物としての市場性の観点から、出版部の意見を付加
- 文化推進担当理事等により採択・不採択を決定
- 採否通知

【以下は採択者のみ】

- 出版契約書締結
- 編集（※）・印刷・製本
- 刊行

※出版部の編集担当者が付きます。入稿から刊行まで出版部の指示に従ってください。

また、英文要旨（以下、Abstract）を作成していただきます。

最終決定により採択が決まった応募原稿であっても、その後の編集過程で、執筆者による修正原稿が書籍として必要とされる完成度に達しなければ、出版に至らない場合があります。

6. 募集の詳細

（1）募集時期・回数

2026年度の応募受付期間は、次の通りです。

第1回 2026年 5月7日（木）～ 5月22日（金）（必着）

第2回 2026年10月26日（月）～ 11月13日（金）（必着）

上記の期間に間に合わない場合は、次回以降にご応募ください。ただし、その時点でも応募資格があることが必要です。

採否の結果通知の時期は、次の通りです。

第1回 2026年9月下旬頃まで

第2回 2027年3月下旬頃まで

（2）募集告知

「早稲田文化」のウェブサイト～学術研究書出版制度のコーナーおよび MyWaseda の「お知らせ」欄にて募集告知を行います。また、常勤教員（専任、任期付、助手を含む）宛にリーフレットを配布し、本学での直近の博士学位取得者に募集要項および応募書類がダウンロードできる URL を記載したメールを配信します。

本学で学位を取得し、現在学外にいる方へは、学位審査時の主査の先生より情報提供いただければ幸いです。

（3）応募資格

以下に該当する方が応募できます（いずれも応募時の資格）。

①学術叢書

- ・本学所属の常勤教員（専任、任期付）

②エウプラクシス叢書

- ・本学で博士学位を取得後5年以内の方（学外所属の方でも応募可能です）
- ・本学所属の常勤教員（専任、任期付）または研究員（上級、主任、次席）で、学外で博士学位取得後5年以内の方

(4) 応募書類

以下の応募書類 a～e の 5 点 (e はエウプラクシス叢書の応募者のみ) を準備してください。

a. 学術研究書出版応募申請書

申請書の太線枠で囲まれた部分のみ記入してください。

b. 学術研究書出版計画書 (A) (B) <両面印刷>

科学研究費補助金・研究成果公開促進費「学術図書計画調書」のフォームをほぼ準用しています。記入にあたっては、以下の事項に留意してください。

- ・太線枠で囲まれた部分と、項目番号の 2～5 について記入してください。
なお、フォームに入力する場合は、10.5 ポイントの活字を使用してください。
- ・本学専任教員以外の分担執筆者あるいは共同執筆者がいる場合は、学術研究書出版計画書 (B) の項目 43 の細目に従って記載してください。
- ・応募する原稿が博士学位論文をもとにしている場合は、学術研究書出版計画書 (B) の項目 44 に、当該論文の審査員全員の氏名と現在の所属・役職等を記載してください。

c. 原稿 (紙媒体および電子媒体 (CD、DVD または USB メモリ))

①学術叢書

- ・日本語文の場合、1 頁を縦組みであれば 52 字×19 行、横組みであれば 34 字×29 行とし、全体の分量は 310 頁から 430 頁の間としてください (図、表、写真を含む)。
- ・英文の場合、106,400 ワードから 146,300 ワードの間としてください。
- ・所定の頁数を大幅に超過する場合は、別途、理由書 (A4、書式自由) を応募申請書に加えてください。

②エウプラクシス叢書

- ・日本語文の場合、1 頁を縦組みであれば 52 字×19 行、横組みであれば 34 字×29 行とし、全体の分量は 230 頁から 320 頁の間としてください (図、表、写真を含む)。
- ・英文の場合、78,400 ワードから 107,800 ワードの間としてください。
- ・博士学位論文 (紙媒体および電子媒体) をあわせて提出してください。
- ・博士学位論文と応募原稿との相違点や発展させた点を、A4 用紙に箇条書きでまとめたものも提出してください。

③共通

- ・提出原稿は、出版部が定める「学術研究書出版執筆要項」(1～3) に準拠し、作成してください。
- ・過去に不採択だった原稿について、再応募する場合は、審査員のコメントを踏まえて加筆修正した上で、加筆修正した点を A4 用紙 (数枚以内、書式自由) でまとめたものも提出してください。
- ・応募時の原稿の紙の大きさは、A4 判 (両面印刷) としてください。
- ・①②で規定する原稿の分量には、前書き、本文、参考文献、後書き、図、表、写真は含み、目次・索引は含みません。
- ・電子媒体の原稿において、章や節ごとにファイルが分かれている場合は、全体で 1 ファイルにまとめてください。応募原稿で 1 ファイル、博士学位論文で 1 ファイル (それぞれ Word 形式) にして提出してください。
- ・原稿および博士学位論文には、必ず表紙(書名)、目次・頁を付け、本文には通しの頁番号を記入してください。

④留意事項

以下の点に留意してください。

- ・応募者が著作権者であること。
- ・研究成果（原稿）が他人の著作権その他の権利を侵害しないこと。また、採択後に権利侵害等の問題が生じ、大学や出版部に対して損害を与えた場合は、応募者（執筆者）はその責を負うこと。
- ・原稿が完成しており、内容が学術的に優れていること。
- ・原則として、本学の大学院、学部、研究所、研究機構等が箇所として刊行するもの（叢書シリーズ等）ではないこと。
- ・出版社が立案した企画（いわゆる持ち込み企画）ではないこと。
- ・応募する原稿は、審査用の原稿としてすぐにコピー可能であり、未製本であること。

①～④の記載事項を満たさない場合は、採択されないことがあります。

d. 誓約書

著作権その他の権利を侵害していない旨の誓約書が必要です。署名（自署）がないものは無効です。また、共（編）著の場合は全員分提出してください。

e. 推薦書

エウプラクシス叢書に応募する場合は、当該論文の審査員の教員（主査、もし主査が難しい場合は副査）の推薦書が必要です。

A4判1枚程度で書式は自由です。ただし、推薦者の署名・押印がないものは無効です。

(5) 応募手続

応募書類は必ず募集期間内に間に合うように、学内便（学内者のみ）あるいは郵送・宅配便にて文化推進部文化企画課（以下、事務局という。）に提出してください。

提出先

〒169-0071 東京都新宿区戸塚町 1-103 早稲田 STEP21 5階
早稲田大学文化推進部文化企画課

学術叢書について、共（編）著の場合は、代表者が応募書類を取りまとめて一括して提出してください。共著者個々による提出は認められません。

電子メールやファックスで提出することはできません。

なお、応募書類に不備等があった場合、応募締切日以降、事務局から学術研究書出版計画書(A)に記載された連絡先・メールアドレスに連絡し、訂正等をお願いすることがあります。

【注意事項】

- ①応募書類受付後の書類の訂正、再提出や追加提出はできません（事務局において書類不備が発見された場合を除く）。
- ②提出された応募書類一式は、返却しません。
- ③氏名・連絡先・身分等の基本情報に変更があったり、長期間不在にする場合等は、事務局に連絡してください。

7. 応募・出版時の留意事項

(1) 応募時

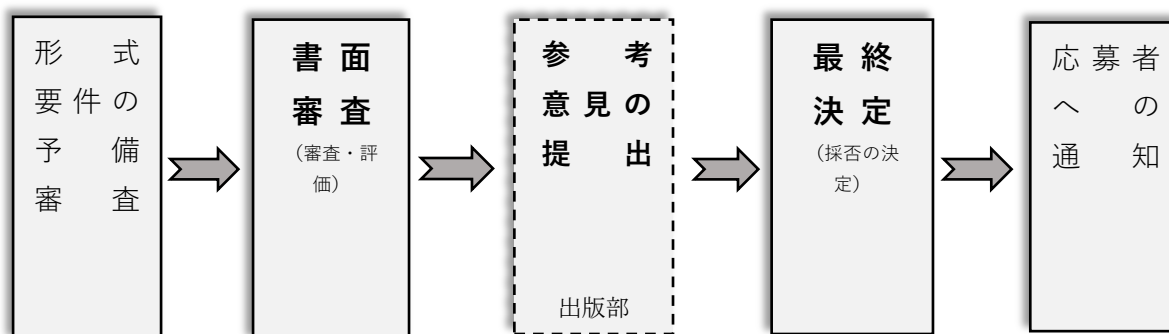
- ①応募書類の提出は、本募集要項の記載内容に合意していることが前提です。
- ②定められた応募書類以外のものの提出は認められません。

- ③教科書および博士学位論文そのものは対象となりません。
- ④記録集や報告書等は、そのままでは応募できません。
- ⑤国内外を問わず、すでに刊行された書籍の再出版はできません（ただし、応募者自身がそれを翻訳して出版を希望する場合は、元になる書籍の出版社の了解を得ていることを前提として、応募できます）。
- ⑥学術叢書とエウプラクシス叢書の両方へは同時に応募できません。
- ⑦学術叢書への応募で、著者が複数の場合は、編者が本学常勤教員（専任、任期付）であり、かつ著者の3分の1以上が本学常勤教員（専任、任期付）であることが必要です。
- ⑧応募書類提出後および採択後に重要な変更が生じる場合は、応募者が事前にその変更内容と理由を記載・署名した書類を事務局へ提出し、承認を受ける必要があります。
- ⑨その他、個別の事情や偶発的事象等が発生した場合は、応募者が速やかに事務局に相談してください。

(2) 出版時

- ①初版の定価や発行部数等の出版条件は、出版段階で大学と出版部が協議して確定します。
- ②当該書籍の英文書名（副題を含む）、著者名、キーワードを構成項目とした **Abstract** を A4 判 1 枚程度で作成し、ネイティブによる校閲（1 回、費用は大学が負担）を受けた上で、原稿とともに出版部に入稿してください。
- ③本制度はシリーズとして刊行するため、学術叢書およびエウプラクシス叢書の定められた装丁を変更することはできません。
- ④採択決定時の著者以外の者が、共著者や監修者等として加わることはできません。
- ⑤出版に向けて、あらかじめ「出版契約書」を取り交わすことになります。
- ⑥審査を経て採択された後、その内容を著しく変更することはできません。
- ⑦学術叢書については採択通知後 1 年以内、エウプラクシス叢書については採択通知後 2 年以内に刊行できるよう、具体的な入稿日や刊行予定日等について、出版部と相談して決定してください。上記期間中に、必要とされる完成度に達しない場合は、出版に至らない場合があります。
- ⑧刊行物の表紙および扉には、書名および「早稲田大学学術叢書」または「早稲田大学エウプラクシス叢書」の文字を記載します。
- ⑨刊行次第、本学の図書館や図書室および国立国会図書館等に献本します。
- ⑩初版 1 刷については、著者に 20 部を買い取っていただきます。
- ⑪初版 1 刷では、著者への印税支払はありません。
- ⑫本学の広報媒体および出版部の Web サイトをはじめ、学内の展示スペース、出版募集の案内広報紙等に、事務局から刊行物に関する情報を提供することがあります。

8. 審査のプロセス



- ①審査にあたっては、公平性と公正性を期します。
- ②過去に複数回採択されている場合は、他の応募者の採択を優先することがあります。
- ③専門審査員の氏名等や評価結果は公表しません。
- ④審査および決定のプロセスの透明性を確保するため、出版企画委員会に対して、審査・決定過程が開示されます。
- ⑤出版企画委員会、事務局および出版部は、審査の内容や結果の照会は一切応じません。
- ⑥専門審査員から応募者へのコメントが提出された場合、応募者に報告します。
- ⑦専門審査員、出版企画委員会、事務局および出版部は、応募者に関わる諸情報に対しての守秘義務を負います。

9. 採択・不採択の通知

応募に対する採択・不採択の結果は、文化推進担当理事名で応募者へ、学術研究書出版計画書（A）に記載された自宅住所宛または学内便にて文書を送付します。

10. 個人情報の保護

提出された応募書類に含まれる個人情報の保護については、「早稲田大学個人情報の保護に関する規則」に基づいて厳重に管理し、学術研究書出版制度の業務遂行の目的のみに使用します。

以 上

【 お問い合わせ先 】

早稲田大学文化推進部文化企画課
(松尾、荻原、道川)

電話 : (内線) 706-2346 (外線) 03-5272-4783

Email : shuppanjimu@list.waseda.jp

